

ある日曜

微笑・・・微笑・・・

ああ、あの自然な微笑を
俺は何と久しく浮かべなかったことが

(元気に小さな子供が笑っている)

皮肉な笑い、傲慢
獣欲の笑い、嫌らしい
作り笑いの何と虚しい爆発

(子供が何か父に喚いた)

ところが今、俺は浮かべている
何の感情も抱かずに
しかも何かの情感に誘われて

(子供の父がやり返した、大声で
「大人になんかなれるわけないだろ」
子供も父も、家族みんなが笑った)

ああ、この自然な微笑を
俺は何と久しく浮かべなかったことが
ああ、空が抜けるようだ

(1982.5.9)